

参加者は皆県内出身者だったが、県内の夜景スポットを知らない人が意外と多

参加者の声



▲青柳氏より説明を受ける参加者

どが必然的にわかってくる。また、撮影に必要な行動力を湧きたたせる好奇心も必要。好奇心があると撮影することが非常に楽しくなってくる。などと、夜景撮影のノウハウや楽しみ方などを参加者に説明した。



▲甲府盆地の夜景の素晴らしさに感動しつつ、夜景撮影する参加者

仲間と二緒に夜景の写真を撮り続けている方は、「例えば二人では行きにくい撮影スポットであっても、このようなツアーがあれば、安心して大勢で行く事ができ、ネットワークも広がります。また、規模が大きい会は、細かいところまで教えてもらえないこともあるのですが、今

所で撮影するのは初めてだった。また、自分のホームページに自分が撮影した夜景写真を載せるために参加した方は、「いい悪いは別として、自分の納得のいく写真が撮れれば満足です。」と話した。

く、普段、仲間達と県内外の夜景を撮影している方で、SNS、本ツアーの撮影場



あなたは知っていますか？  
宝石を散りばめたような素晴らしい甲府盆地の夜景を...

# 甲府盆地ナイトツアー

「プロのアドバイスで、甲府盆地の夜景を撮ろう」

撮影:青柳 茂氏

甲府盆地の夜景を全国に広げようと、2月16日に実施した甲府盆地ナイトツアー。これは、当所と市民団体「甲府盆地のナイトツアーを考える会」が連携して企画したもの。当日は、約20名が参加。同会メンバーである写真家の青柳茂氏から夜景の写真を撮影するポイントを学び、盆地が見下ろせる甲府市山宮町の片山(湯村山方面)にある「みはらし広場」で、夜景写真撮影を行った。今後も、テーマを変えながら実施する予定で、県都甲府の新たな夜間観光事業として期待される。

ナイトツアーの経緯と目的

甲府盆地は、秋から冬にかけて乾燥し、冷え込むことにより空気が澄み、遠くまで見渡せることから、周辺の小高い場所から美しい夜景を見ることが出来る。そこで、当所と、甲府盆地の夜景を生かした観光活性化に取り組んでいる「甲府盆地のナイトツアーを考える会」(代表 内藤宥一氏)は、この夜景を観光資源として捉え、盆地特有の地形を生かした夜景見学ツアーを企画した。甲府盆地の夜ならではの楽しみ方を提案し、宿泊を伴う観光客増と、地元の方達への浸透(P.R)を図り、夜間観光として活用していく。

当日の様子

当日はまず、甲府富士屋ホテルにて、参加者約20名が同会メンバーである甲府市の写真家青柳茂氏(アオヤギ フォトスタジオ)から、難しい夜景写真の撮影技術などのアドバイス、事前講習を受けた。その後、移動中の車内にて同じくメンバーの雪江なほみ氏(有石宝堂)より、甲府盆地の特長等の説明を受け、盆地が見下ろせる展望台「みはらし広場」で夜景撮影を各自行った。

青柳氏は事前講習の中で、「何度も撮影をして経験を積むことが大事。そうすると綺麗に撮影できる場所や条件な

回のツアーは、少人数制だったので、事細かにアドバイスを頂き、とてもためになりました。」と感激していた。

「地上の銀河」甲府盆地の夜景 ホームページ開設

甲府盆地の夜景の素晴らしさを多くの人に知ってもらいたい、訪れてもらいたい、との思いから当所が中心となってホームページを立ち上げた。多くの皆様から支持されるよう、より一層の内容の充実・改善を図り、甲府の魅力を全国に発信していく。

アクセス先  
<http://www.kofuyakei.net/>

最後に...

当所は、参加者が今回のツアーで学んだことを今後に生かされるよう、また、夜間観光による地域活性化を図るためにも、本事業への取り組みを積極的に行っていく予定。

今後は、甲府の夜景写真の展覧会などを県内外で行うなど、この甲府盆地の夜景という冬の新たな観光資源の魅力を広くPRし、観光客の増加につなげていく。

甲府商工会議所、甲府盆地のナイトツアーを考える会共同企画  
「第1回甲府盆地ナイトツアー」  
参加者アンケート結果  
●調査日 平成19年2月16日(金)  
●対象者 ナイトツアー参加者  
●回収数 17/18人(回収率94.4%)

